

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第37週（9月12日～9月18日）

蚊やマダニに刺咬されないように注意しましょう！

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど
肌の露出をできるだけ少なくしましょう。



★お知らせ

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第36週の0.97から第37週は1.93と増加し、中央西では3週連続で警報値を超え、高知県全域、高知市、須崎で注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、主に夏期に流行し、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。

主な症状は、発熱・咽頭炎・結膜炎で、その他に、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることもあります。

感染力は非常に強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介して感染します。

予防対策は手洗い、うがいの励行です。

また、プールでは眼の結膜からの感染も考えられていますので、プールを利用する際は、前後のシャワーを必ず浴び、タオルを他人と共用しないようにし、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第36週の0.10から第37週では0.13と増加し、高知県全域、中央西、高知市で注意報値を超えています。また、定点医療機関からのホット情報でも須崎から百日咳5例（36週検出）が報告されています。

病原体検出情報では *Bordetella pertussis* が5例報告されています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第37週も基幹定点からの9例に加えて、定点医療機関からのホット情報でも23例の報告があるなど、引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から10日前後（症状持続の例でも6週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触は避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。まだ、マダニが活発に活動する時期です。引き続き、注意が必要です。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。

長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに咬まれないようにしましょう。吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。






<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>






高知県の日本紅斑熱・SFTS（重症熱性血小板減少症候群）年別報告数

	2013年	2014年	2015年	2016年
日本紅斑熱	1	7	4	10
SFTS（重症熱性血小板減少症候群）	3	11	3	6

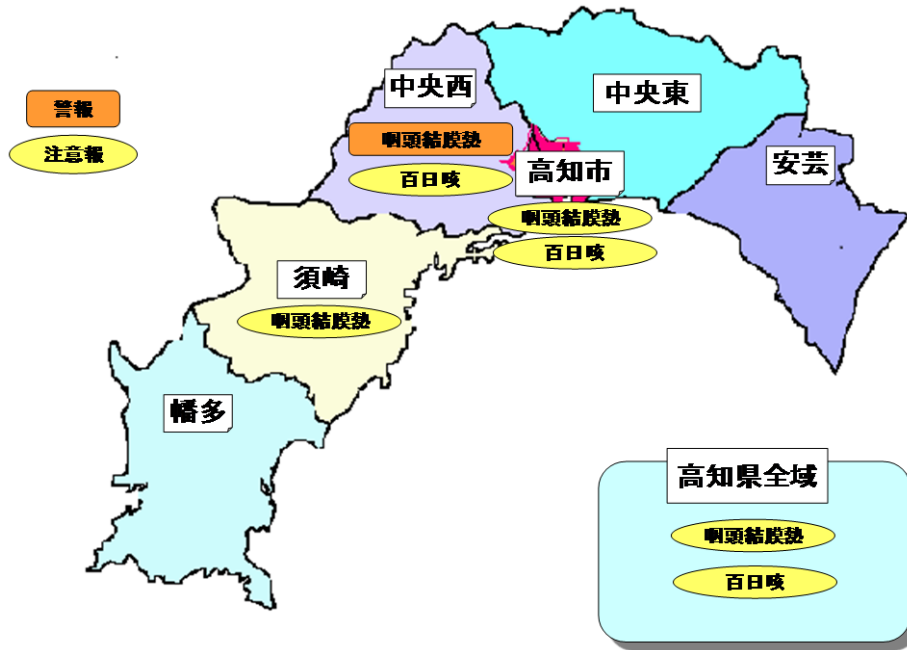
※2016年は第37週時点の報告数

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
37週（9月12日～9月18日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		2.77	中央東、中央西で増加しています。
咽頭結膜熱		1.93	中央西、高知市、須崎、中央東で増加し、中央西では警報値を超え、高知県全域と高知市、須崎で注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.77	高知市、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎		0.73	中央東、須崎で増加しています。
RSウイルス感染症		0.50	中央西、高知市で増加しています。

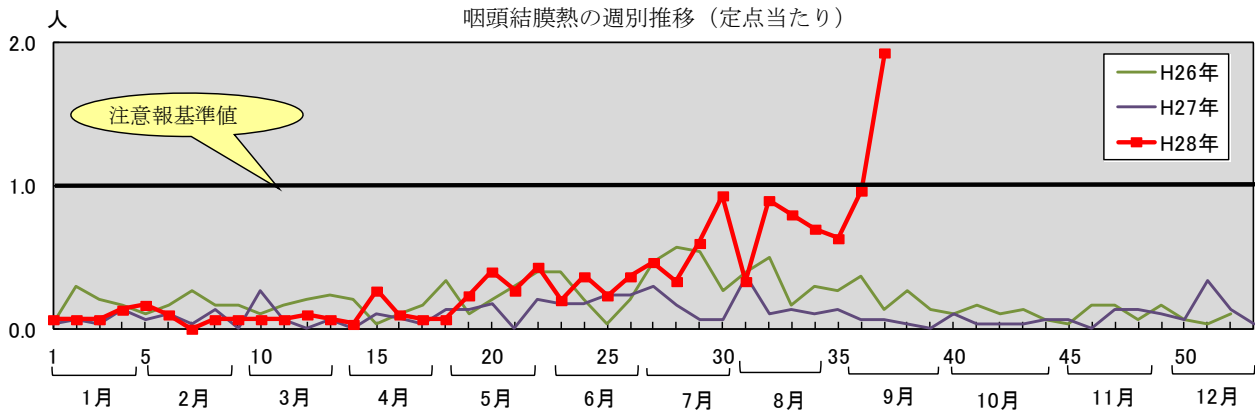
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

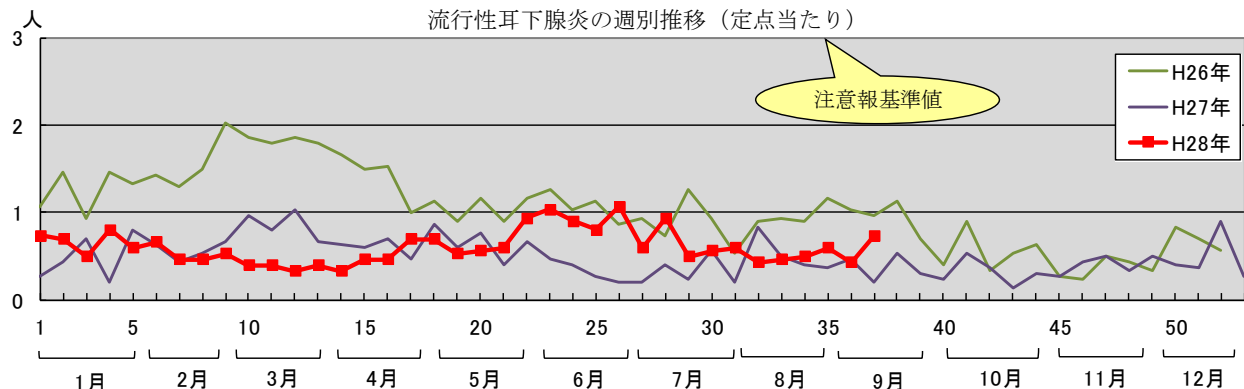
○咽頭結膜熱 第37週： 1.93 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.93(前週：0.97)と増加しています。中央西7.67(前週：3.33)では警報値を超え、高知県全域、高知市、須崎で注意報値を超えています。中央西、高知市2.64(前週：1.55)、須崎1.50(前週：0.50)、中央東0.29(前週：0.00)で増加しています。



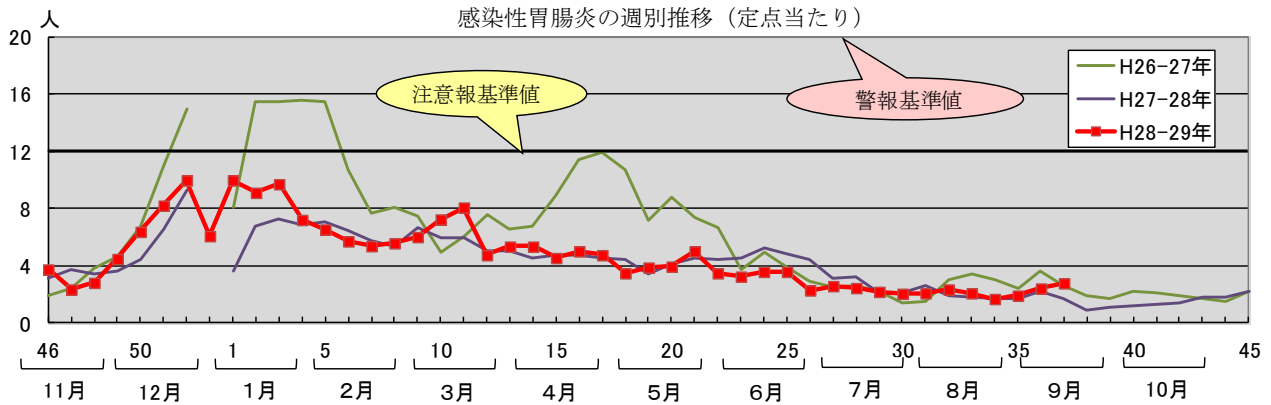
○流行性耳下腺炎 第37週： 0.73 (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.73(前週：0.43)と増加しています。中央東1.86(前週：0.00)、須崎0.50(前週：0.00)で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、香美市の保育園で流行しているとの報告とムンプス脳炎1例が報告されています。



○感染性胃腸炎 第37週： 2.77 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.77 (前週：2.40) とほぼ横ばいですが、中央東 4.00 (前週：1.71)、中央西 2.00 (前週：1.33) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	検出週	臨床診断名	年齢	性別	患者市町村	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
37	37	百日咳	4	男	須崎市	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	37	百日咳	10	男	須崎市	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	37	百日咳	8ヶ月	男	四万十町	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	37	百日咳	9	男	四万十町	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
37	37	百日咳	18	女	須崎市	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	検出週	臨床診断名	年齢	性別	患者市町村	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	37	感染性胃腸炎	2	女	須崎市	須崎	Astrovirus NT
36	37	無菌性髄膜炎	8	女	土佐市	高知市	Echovirus 30

★全数把握感染症

第37週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	91	60歳代男	高知市
		1	92	80歳代男	須崎
		1	93	60歳代女	幡多
		1	94	60歳代男	中央東
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	7	0～4歳女	須崎
		1	8	0～4歳男	高知市
5類	破傷風	1	3	50歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	おひさまこどもクリニック	マイコプラズマ核酸同定陽性1例（11歳男） 香美市の保育園でムンプス流行
	早明浦病院小児科	本山町の保育園で感染性胃腸炎症状流行
	高知大学医学部附属病院小児科	ヒトメタニューモウイルス肺炎1例（3歳女）
		マイコプラズマ肺炎1例（7歳男）
		ノロウイルス腸炎1例（11ヶ月男） ムンプス脳炎1例（8歳男）
野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎5例（1歳女、2歳男、5歳男、10歳男、12歳男）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎9例（0歳男2人、2歳男2人、3歳男3人、4歳男、6歳男）
		マイコプラズマ肺炎7例（3歳男4人、3歳女2人、4歳女）
		ノロウイルス腸炎3例（0歳男、5歳女、29歳女）
		サルモネラ0-9腸炎1例（14歳女）
		カンピロバクター腸炎1例（1歳女）
		病原性大腸菌0-25腸炎1例（7歳男）
		ヒトメタニューモウイルス肺炎1例（1歳女）
	細木病院小児科	カンピロバクター1例（8歳男）
		ノロウイルス1例（1歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	百日咳1例（9歳女 PT-IgG160倍）
アデノウイルス感染症4例（2歳女2人、4歳女、6歳男）		
溶連菌感染症6例		
三愛病院小児科	アデノウイルス感染症2例（6歳男、13歳男）	
	マイコプラズマ肺炎3例（3歳男2人、9歳女）	
高知医療センター小児科	アデノウイルス1例（10ヶ月女）	
中央西	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス感染症3例（1歳女、5歳女、8歳男）
	石黒小児科	帯状疱疹1例（5歳男）
	日高クリニック	帯状疱疹1例（68歳男）
		マイコプラズマ肺炎1例（7歳男）
		アデノウイルス扁桃炎2例（2歳女2人） 百日咳1例（37歳女 PT-IgG743）
須崎	もりはた小児科	カンピロバクター腸炎1例（9歳女）
		マイコプラズマ肺炎1例（3歳男）
		百日咳5例（LAMP陽性 ※36週検出）
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎4例（1歳女、3歳男、5歳男、15～19歳男）
	渭南病院小児科	帯状疱疹1例（5歳女）
	さたけ小児科	アデノウイルス1例（7歳男）

★全国情報

麻疹

麻疹（はしか）の流行が問題となっています。

麻疹は、発熱・咳・鼻水といった風邪のような症状の後、高熱と発疹が現れ、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。

発熱等の麻疹が疑われる症状が現れた場合は、医療機関に直ぐに受診をするのではなく、必ず事前にかかりつけ医等に電話連絡でその旨を伝え、指示に従い、医療機関を受診しましょう。

- ・麻疹は予防接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。
- ・麻疹は感染力が非常に強い感染症です。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は重要です。予防接種を受けてない方や、予防接種が1回だった年代の方（概ね26歳以上の方）については十分な免疫を獲得してない可能性があることから、特に注意が必要です。
- ・妊娠中に麻疹に罹患すると、一般に重症化することが知られています。妊娠中の接種はできませんが、これから妊娠を計画されている方は予防接種を受けることをご検討ください。
- ・麻疹流行時には外出を避け、人込みに近づかないようにするなど注意が必要です。特に感染者が多く報告されているところへ出かける際は注意しましょう。

○高知県健康対策課 麻疹・風しんに関する情報

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyumashin.html>

○厚生労働省 麻疹（はしか）に関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

○国立感染症研究所感染症疫学センター 麻疹に関する緊急情報（2016年8月25日）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/6709-20160825.html>

第33週以降、全国各地で麻疹の患者報告が相次いでおり、今年全国の麻疹患者報告数は第36週時点※で115名と、昨年1年間の報告数35名を大きく超えています。

36週の報告数は23名となっており、引き続き、兵庫県、大阪府、千葉県等からの報告が相次いでいます。それぞれの報告数は、兵庫県11名、大阪府6名、千葉県3名となっています。

国立感染症研究所麻疹情報（速報）は次のとおり発信されています。

○国立感染症研究所 感染症発生動向調査（IDWR）麻疹第36週速報

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/diseases/measles/measles2016/meas16-36.pdf>

○国立感染症研究所 麻疹ウイルス分離・検出速報

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html>

※報告数は感染症発生動向調査システムWISH公開データ（週報）を掲載しているため、速報として公開されている報告数とは一致しない場合があります。

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。

診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症関連情報

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年9月6日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない? どう防ぐ? ジカウイルス感染症 (ジカ熱) 予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

●オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>

●外務省海外安全ホームページ マレーシアにおけるジカウイルス感染症の発生 2016年9月4日更新

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2016C240.html

第35号 (8月29日～9月4日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核426例

3類感染症：コレラ2例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症232例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱13例、日本紅斑熱6例、
レジオネラ症39例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症26例、
急性脳炎9例、クリプトスポリジウム症2例、クロイツフェルト・ヤコブ病6例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群22例、
侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性髄膜炎菌感染症2例、
侵襲性肺炎球菌感染症16例、水痘 (入院例に限る) 4例、梅毒56例、
播種性クリプトコックス症1例、破傷風5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、
風しん1例、麻しん26例

報告遅れ：パラチフス1例、E型肝炎1例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症5例、
レプトスピラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎4例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、
水痘 (入院例に限る) 4例、梅毒42例、播種性クリプトコックス症2例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例、麻しん15例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症2例、
他に水痘 (入院例に限る) 1例の報告があったが削除予定。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第37週 平成28年9月12日(月)～平成28年9月18日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第37週							計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) H28/1/4～H28/9/18	全国(36週末累計) H28/1/4～H28/9/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	260 (0.05)	14,927 (310.98)	1,582,396 (320.84)	
小児科	咽頭結膜熱			2	29	23	3	1	58 (1.93)	29 (0.97)	1,217 (0.39)	380 (12.67)	50,635 (16.07)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	18		2		23 (0.77)	19 (0.63)	4,531 (1.44)	1,953 (65.10)	272,146 (86.40)	
	感染性胃腸炎	3	28	34	6	2	10	83 (2.77)	72 (2.40)	11,844 (3.76)	4,995 (166.50)	629,830 (199.95)		
	水痘	2		6			3	11 (0.37)	28 (0.93)	807 (0.26)	299 (9.97)	43,351 (13.76)		
	手足口病	1	1	1				1	4 (0.13)	2 (0.07)	2,297 (0.73)	264 (8.80)	29,558 (9.38)	
	伝染性紅斑				3	2		1	6 (0.20)	7 (0.23)	526 (0.17)	255 (8.50)	45,529 (14.45)	
	突発性発疹	1	1	5	3	1	3	14 (0.47)	16 (0.53)	1,723 (0.55)	380 (12.67)	54,596 (17.33)		
	百日咳				3	1			4 (0.13)	3 (0.10)	86 (0.03)	82 (2.73)	2,133 (0.68)	
	ヘルパンギーナ	1	2	1			1	5 (0.17)	12 (0.40)	5,273 (1.67)	712 (23.73)	108,089 (34.31)		
	流行性耳下腺炎		13	3		1	5	22 (0.73)	13 (0.43)	3,108 (0.99)	674 (22.47)	107,783 (34.22)		
RSウイルス感染症		1	7	7			15 (0.50)	6 (0.20)	3,347 (1.06)	665 (22.17)	37,724 (11.98)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	5 (0.01)	()	283 (0.41)		
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	692 (1.00)	14 (4.67)	17,451 (25.29)		
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	2 (0.25)	23 (0.05)	9 (1.13)	344 (0.73)		
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	28 (0.06)	31 (3.88)	944 (2.00)		
	マイコプラズマ肺炎			2			7	9 (1.13)	7 (0.88)	401 (0.85)	210 (26.25)	10,761 (22.75)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	4 (0.01)	26 (3.25)	241 (0.51)		
	感染性胃腸炎							()	()	11 (0.02)	234 (29.25)	4,997 (10.56)		
計 (小児科定点当たり人数)	8 (4.00)	51 (7.29)	114 (10.00)	42 (14.00)	13 (6.50)	28 (4.20)	256 (8.17)			36,183	26,110 (666.29)	2,998,791		
前週 (小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	32 (4.29)	112 (9.80)	20 (6.65)	20 (10.00)	27 (4.60)		217 (6.89)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第37週							計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) H28/1/4～H28/9/18	全国(36週末累計) H28/1/4～H28/9/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.05	310.98	320.84	
小児科	咽頭結膜熱			0.29	2.64	7.67	1.50	0.20	1.93	0.97	0.39	12.67	16.07	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.43	1.64		1.00		0.77	0.63	1.44	65.10	86.40	
	感染性胃腸炎	1.50	4.00	3.09	2.00	1.00	2.00	2.77	2.40	3.76	166.50	199.95		
	水痘	1.00		0.55			1.50		0.37	0.93	0.26	9.97	13.76	
	手足口病	0.50	0.14	0.09				0.20	0.13	0.07	0.73	8.80	9.38	
	伝染性紅斑				0.27	0.67		0.20	0.20	0.23	0.17	8.50	14.45	
	突発性発疹	0.50	0.14	0.45	1.00	0.50	0.60	0.47	0.53	0.55	12.67	17.33		
	百日咳				0.27	0.33			0.13	0.10	0.03	2.73	0.68	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.29	0.09			0.50	0.17	0.40	1.67	23.73	34.31		
	流行性耳下腺炎		1.86	0.27		0.50	1.00	0.73	0.43	0.99	22.47	34.22		
RSウイルス感染症		0.14	0.64	2.33			0.50	0.20	1.06	22.17	11.98			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.41		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		1.00	4.67	25.29		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.25	0.05	1.13	0.73		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.06	3.88	2.00		
	マイコプラズマ肺炎			0.40			7.00	1.13	0.88	0.85	26.25	22.75		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01	3.25	0.51		
	感染性胃腸炎									0.02	29.25	10.56		
計 (小児科定点当たり人数)	4.00	7.29	10.00	14.00	6.50	4.20	8.17				666.29			
前週 (小児科定点当たり人数)	3.00	4.29	9.80	6.65	10.00	4.60		6.89						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869